

活用するスマート農業技術

直進アシスト機能付き田植機、収量センサ付きコンバイン

新たな生産の方式

新品種の導入による作期分散

水稲において、新品種（早生品種）の導入による品種構成の見直しによって作期分散を行うとともに、直進アシスト機能付き田植機、収量センサ付きコンバインの稼働期間を拡大し、労働生産性の向上を図る。

## <申請者>

株式会社 大渡会ファーム（山形県東田川郡庄内町）

経営概況（2026年4月時点）

経営規模：水稲23ha

従業員数：3名

## <対象品目>

水稲

## <計画の実施期間>

5年間

## <活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

スマート農業技術活用促進資金

## <生産方式革新事業活動のイメージ 等>



大渡会ファーム 渡會代表



収量センサ付きコンバイン

## ～認定を受けて一言～

スマート農業に取り組む上でコストの上昇を危惧していたところ、知人の農業者に良い事業があると知らせてもらい申請しました。

今後は、先祖代々の知識や技術を守りつつ、最新のスマート農業技術との融合をしていきたいと思っています。